

# “学び”とは何か？

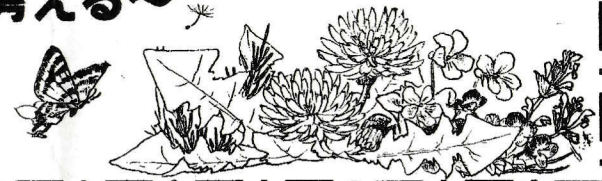
～夜間中学ドキュメンタリー映画「こんばんはII」上映と

加藤良雄さん(元立川高校定時制教員)のお話から考える～

日時＝2019年6月30日(日) 13:30～16:00 (開場 13:15)

場所＝国分寺労政会館(国分寺駅南口より徒歩5分)第1会議室

「分かってくるとすごいなあ、  
楽しい、私は好きや。」・・・  
「学校に行くと 未来が見えるんですよ」  
「キツイですけど、それが自分の骨になっ  
てるんだと思うと、やっぱり楽しいですね」  
「人生は学校、私にとってね」



「学ぶことは生き延びることです」映画「こんばんはII」冒頭の、心打つことばです。2016年に教育機会確保法が成立し、国は今「すべての都道府県に少なくとも一つの夜間中学を」を目標に掲げています。映画は不登校経験者や外国人も学ぶ公立夜間中学や自主夜間中学で、本当の学びを求める人たちの記録です。学ぶこと、生きることを改めて問うています。

一方、東京都は、夜間中学卒業生をはじめ多様な生徒が学ぶ夜間定時制高校4校の廃校を決め、昨年雪谷高校、今年江北高校を募集停止しました。立川高校と小山台高校の募集停止の年度はまだ未定ですが、東京都は存続を求める声を無視し続けています。

「教師生活で、生徒に絶望したことは何度もある。しかし、絶望から救ってくれたのもまた、生徒であった」と語る加藤先生から夜間高校のお話をさせていただきます。

毎年、全国学力テストの結果が公表され、教科書は重く、授業時間はふえるばかり。子どもも先生も忙しく、ゆとりがない。不登校や引きこもりはふえるばかり。

今、あらためて“学び”とは何か、教育に何が必要なのか、夜間高校を潰してよいのかなど日ごろの疑問や思いをフリーに語りあいたいと思います。

ぜひ、多くの方に声をかけ、誘いあってご参加ください。

資料代 500円

